

市議会だより

はままだ

浜田市立旭小学校竣工式

平成28年(2016年)5月1日発行

Vol.41



- 3月定例会 主な記事**
- 施政方針と教育方針を問う (会派代表質問) … 7
- 19人の議員が論戦 (個人一般質問) …………… 9
- 岡見小学校6年生が本会議場を見学しました…16



平成28年3月定例会

平成28年3月定例会は2月23日に招集され、3月16日までの23日間の会期で開かれました。今定例会で提出された議案は58件、請願1件、陳情1件でした。

委員会審査の様子は2ページから3ページに、採択の結果は4ページから5ページに掲載しています。会派代表質問には3会派の代表3人が立ち、個人一般質問には、19人が立ちました。論戦の様子はそれぞれ、7ページから掲載しています。

防災行政無線施設 28年度は5基設置!

— 総務文教委員会 —

総務文教委員会に付託された議案16件、同意案件2件について審査を行いました。

「浜田市防災行政無線施設条例の一部を改正する条例について」は、設置基準や場所の調査、地元要望予定数について質疑があり、中山間地域を優先に28年度5基、29年度6基で今年度を含め60基を予定。戸別受信機の配布は予算面で難しく、新たな方式を含め検討するとの答弁がありました。



防災行政無線設置は5基

「浜田市地域資源活用

推進条例の制定について」は、地域経済の循環イメージや競争入札の参入について質疑があり、「BUY浜田運動」や少額随意契約の範囲で、地元業者を使うなど、地産地消を図るため市の発注についてチームを立ち上げ進捗管理をして行くとの答弁がありました。

「浜田市生活路線バス条例の一部を改正する条例について」は停留所の数や基準、途中昇降、料金について質疑があり、石見交通のバス停留所を利用してフリー昇降も加味、片道200円を予定しているとの答弁がありました。

「浜田市火災予防条例の一部を改正する条例について」は、改正の背景や原因と周知について質疑があり、前回の改正から10年が経過し、新たな厨房器具やIHヒーター使用の揚げ物調理火災などからの離隔距離等の改正であり、ホームページや回覧板で安全等の周知を図っていくとの答弁がありました。

そのほか2件の同意案件と12件の議案について審査をし、採決の結果、それぞれ全会一致で原案のとおり、可決すべきものと決しました。

旧小学校の有効活用、 高齢者福祉施設へ

— 福祉環境委員会 —

福祉環境委員会に付託された議案3件について審査を行いました。

「浜田市消費生活相談室の組織及び運営等に関する条例の制定について」は、委員から条例制定の目的、相談件数、相談室の役割及び相談員の待遇についての質疑があり、執行部より、消費者安全法に伴っての条例制定であり、全国の情報を共有できる電子処理設備が整備され、資格取得者及び同等以上の知識や技術を

有した嘱託職員が相談員に当たっているとの答弁がありました。また他の議員から、法改正により幹旋という業務が新たに明文化されたことへの、相談員の待遇改善について執行部の見解をただし、年間150件余りの相談件数、及び商品あるいは役務的な相談がほとんどであり、当面は担当職員のスキルアップを図りたいとの答弁がありました。「財産の無償譲渡について(旧久佐小学校)」は委員から特に意見はなく、以上の議案2件は、全会一致で可決すべきものと決しました。

「浜田市国民健康保険条例の一部を改正する条例について」は、委員から所得に対する国保料の割合、代替え案の可否についての厳しい意見があり、執行部から限度が上がることによる全体の影響額、補填の可否、一般世帯を例にした所得額の影響額等の答弁がありました。採決の結果、賛成多数により可決すべきものと決しました。

長期に及んだ 議案審議!

— 産業建設委員会 —

産業建設委員会に付託された議案9件、請願1件、陳情1件について審査を行いました。

「浜田市手数料条例の一部を改正する条例について」は、手数料の額は鳥根県と同額であるが、浜田市独自の設定もできるのかと質疑があり、浜田市独自でもできるが、県内の同じような建物で審査するのに手数料自体も変わるのをおかしいと



無償譲渡される旧久佐小学校

のことで県とあわせるとの答弁がありました。

「浜田市農業振興基金条例の制定については、農業振興基金と地域振興基金との違いについて質疑があり、地域振興基金については独自農業施策に使い、この農業振興基金については全市対応の事業に使っていきたいとの答弁がありました。

「浜田市下来原林業協業活動センター条例を廃止する条例については、活動センターが老朽化及び利用低迷ということで、土地所有者に返還とあるが、廃止に至った経緯、利用状況について質疑がありました。昭和55年前後、林研グループや旧金城町森林組合、地元集落の集会所として整備したが、耐用年数を経過した。林研グループは平成に入ってから活動停止、森林組合も新しい事務所を構え、地元集落は大きな集会所を建てられ、将来的にもこの施設の利用が見込めないため廃止に至ったとの答弁がありました。

議案9件については、



廃止する下来原林業協業活動センター

いずれも可決すべきものと決しました。

次に、請願「TPP協定を国会で批准しないことを求める意見書の提出について」は、日本の行く末を決めていく大きな物事なのであまりに説明不足だ。また、当市はほとんどが中山間地で、この5年10年で農業が生き残れるのか、死活問題になっている。詳しい説明もなければ、どのような利益・不利益があるのか、金額の提示もなく分からない。そんな状態で国会審議をするのは無謀だと思っている。他の意見として、中山間地域をもつ当市は食料の安全保障のために、輸出する農産物という農業政策ではなく、田舎を守るといふ政策が

必要であるのではとの意見がありました。採決の結果、賛成多数で採択すべきものと決しました。また「仮称君市踏切に関する陳情」は、継続審査となりました。

補正や新年度予算を 集中審議!

— 予算決算委員会 —

予算決算委員会に付託された議案23件について3月8日から11日までの4日間、「平成28年度浜田市一般会計予算」を中心に質疑、審査を行いました。

審査初日の冒頭、市長及び総務部長より中期財政計画と行財政改革実施計画におけるふるさと寄附の扱いと、行財政効果盛り込んだ収支見通しについて説明があり、質疑と詳細な答弁を求め

した。

「平成27年度浜田市一般会計補正予算(第4号)」については延べ34件の質疑があり、議案第33号、議案第34号については質疑がありませんでした。

議案第35号から議案第41号迄の7件については5件の質疑がありました。追加提案のあった「浜田市一般会計補正予算(第5号)」については「水産都市浜田」再生に向けた課題解決事業やユネスコ和紙ブランド推進事業についてなど、4件の質疑がありました。

「平成28年度浜田市一般会計予算」では、常任委員会ごとに通告のあった事業番号順に審査を行いました。特に質疑が集まった事業で、総務文教委員会関係では、「ふるさと寄附推進事業」の積立見込額や、積立てた基金の使用予定などを問い、執行部からは各項目の見込額や取り崩す際の議会への報告と意見を伺いたいなどとの答弁がありました。

「瀬戸ヶ島埋立地活用

調査事業」では、以前も調査事業をしたが、目的、事業内容や本来は国、県が主体であった養殖事業での浜田市のかかわり方と、連携の在り方について質疑がありました。

執行部からは、議会との意見交換から、養殖の可能性がみえたため、投資や採算性を調査するもので、県やJFとの情報の共有や連携をして準備を進めていくとの答弁がありました。

福祉環境委員会関係では、「地域包括支援センター運営事業」や「包括的支援事業」について、体制や事業内容について質疑がありました。

執行部からは、センターの担う役割はますます幅広くなってくる。人的配置や地域包括ケア体制の構築を見据え、各種事業に取組むとの答弁がありました。「ストックヤード整備事業」では、解体は必要だがリサイクル啓発施設建設の質疑があり、執行部から旧ごみ処理場の解体で国の交付金事業を取り入れるための

建設であるが、大々的な規模の施設ではないと答弁がありました。

産業建設委員会関係では「高度衛生管理型荷捌所整備事業」について目的と役割、必要性に質疑があり、執行部から高度衛生管理が目的で、その事により販売や加工で競争力が上がると答弁がありました。

議案第43号から議案第53号について8名の委員から質疑があり、採決の結果、議案第32号、33号、35号から41号までと55号は全会一致、議案第34号、42号から44号は賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決しました。

中期財政計画が示された後でもあり、4日間の審査で19名の委員から延べ335件の質疑がありました。



議案等の賛否の公開(本会議)

議案番号	議案名	賛成	反対
議案第31号	浜田市過疎地域自立促進計画の策定について	23	0
議案第32号	平成27年度浜田市一般会計補正予算(第4号)	23	0
議案第33号	平成27年度浜田市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	23	0
議案第34号	平成27年度浜田市駐車場事業特別会計補正予算(第2号)	23	0
議案第35号	平成27年度浜田市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	23	0
議案第36号	平成27年度浜田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	23	0
議案第37号	平成27年度浜田市生活排水処理事業特別会計補正予算(第1号)	23	0
議案第38号	平成27年度浜田市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	23	0
議案第39号	平成27年度浜田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	23	0
議案第40号	平成27年度浜田市水道事業会計補正予算(第1号)	23	0
議案第41号	平成27年度浜田市工業用水道事業会計補正予算(第1号)	23	0
議案第42号	平成28年度浜田市一般会計予算	反対: 森谷、澁谷、西村	20
議案第43号	平成28年度浜田市国民健康保険特別会計予算	反対: 西村	22
議案第44号	平成28年度浜田市駐車場事業特別会計予算	反対: 森谷	22
議案第45号	平成28年度浜田市公設水産物仲買売場特別会計予算	23	0
議案第46号	平成28年度浜田市公共下水道事業特別会計予算	23	0
議案第47号	平成28年度浜田市農業集落排水事業特別会計予算	23	0
議案第48号	平成28年度浜田市漁業集落排水事業特別会計予算	23	0
議案第49号	平成28年度浜田市生活排水処理事業特別会計予算	23	0
議案第50号	平成28年度浜田市簡易水道事業特別会計予算	23	0
議案第51号	平成28年度浜田市後期高齢者医療特別会計予算	23	0
議案第52号	平成28年度浜田市水道事業会計予算	反対: 足立、森谷	21
議案第53号	平成28年度浜田市工業用水道事業会計予算	反対: 森谷	22
議案第54号	浜田市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第55号	平成27年度浜田市一般会計補正予算(第5号)	23	0
同意第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	23	0
同意第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	23	0
請願第13号	TPP協定を国会で批准しないことを求める意見書の提出について 反対: 足立、岡野、柳楽、森谷、野藤、岡本、佐々木、道下、田畑、平石、牛尾昭	12	11
発議第1号	TPP協定の国会批准をしないことを求める意見書について 反対: 足立、岡野、柳楽、森谷、野藤、岡本、佐々木、道下、田畑、平石、牛尾昭	12	11

反対理由の詳細については市議会HPをご覧ください。浜田市議会HP→会議日程・結果→賛否の公開

請願・陳情の審査結果及び結果 =平成28年3月定例会審査分=

区分	請願・陳情の内容	提出者	審査した経過と結果
請願	TPP協定を国会で批准しないことを求める意見書の提出について	松江市苧町27番地 島根県農民運動連合会 代表者 長谷川敏郎 様	産業建設委員会 (採 択)
陳情	仮称君市踏切に関する陳情	浜田市原井町1019-6 森谷 公昭 様	産業建設委員会 (継続審査)

平成28年3月定例会での

議案番号	議案名	賛成	反対
議案第1号	行政不服審査法等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	23	0
議案第2号	浜田市行政不服審査会条例の制定について	23	0
議案第3号	浜田市防災行政無線施設条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第4号	浜田市地域資源活用推進条例の制定について	23	0
議案第5号	浜田市生活路線バス条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第6号	浜田市消費生活相談室の組織及び運営等に関する条例の制定について	23	0
議案第7号	地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	23	0
議案第8号	浜田市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第9号	浜田市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第10号	浜田市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について 反対：西村	22	1
議案第11号	浜田市参考人等の実費弁償に関する条例の制定について	23	0
議案第12号	浜田市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例について 反対：西村	22	1
議案第13号	浜田市職員の給与の支給に関する条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第14号	浜田市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の制定について	23	0
議案第15号	浜田市手数料条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第16号	浜田市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第17号	浜田市農業振興基金条例の制定について	23	0
議案第18号	浜田市国民健康保険条例の一部を改正する条例について 反対：森谷、澁谷、西村	20	3
議案第19号	浜田市下来原林業協業活動センター条例を廃止する条例について	23	0
議案第20号	浜田市勤労青少年ホーム条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第21号	浜田市美又温泉足湯公園条例の制定について	23	0
議案第22号	浜田市旭温泉あさひ荘条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第23号	浜田市公共下水道使用料条例等の一部を改正する条例について	23	0
議案第24号	浜田市一般市営住宅条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第25号	浜田市火災予防条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第26号	財産の無償譲渡について（旧久佐小学校）	23	0
議案第27号	財産の無償譲渡について（浜田市下来原林業協業活動センター）	23	0
議案第28号	市道路線の廃止について（西浜田150号線）	23	0
議案第29号	市道路線の認定について（国府249号線外）	23	0
議案第30号	浜田市過疎地域自立促進計画の変更について	23	0

反対討論
西村 健議員
厳しい財政状況のもと、現市長の任期中は据置とはいえ、給料引き上げはすべきではない。

議案第12号 浜田市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例

反対討論
西村 健議員
厳しい財政状況のもと、議員報酬2万円の引き上げは、市民の理解を得られない。

議案第10号 浜田市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

議案に対して議員が
討論を行いました

議案に対して議員が 討論を行いました

議案第42号 平成 28年度浜田市一般 会計予算

【反対討論】

森谷 公昭 議員

平成28年度単年度の
問題ではない。国を挙
げてハコモノを減らす
なか、市民の望まない
ハコモノ予算が多いた
め。

【反対討論】

澁谷 幹雄 議員

今後の逼迫した財政
状況を改善する予算に
なっており、後世に
禍根を残す内容のた
め。

【反対討論】

西村 健 議員

今後の健全な財政運
営の展望も示さず、事
業推進に執着した予算
には賛成できない。

【賛成討論】

足立 豪 議員

総論は賛成だが、城
山整備を行う前に、高
齢者が多い浜田市は福
祉政策を充実させるべ
き。

【賛成討論】

田畑 敬二 議員

予算の総額は理解で
きる。事業内容につい
ては、予算・事業の精
査を希望し賛成する。

議案第44号 平成 28年度浜田市駐車 場事業特別会計予 算

【反対討論】

森谷 公昭 議員

指定管理を公募とし
たが、水面下で観光協
会へ決定後また公募。
理解できない。

議案第52号 平成 28年度浜田市水道 事業会計予算

【反対討論】

足立 豪 議員

給水車購入をする前
に、料金を値上げしな
い努力と県内最低の有
収率の改善を図るべ
き。

【反対討論】

森谷 公昭 議員

上水道の件費約2
000万円を工業用水
道会計に負担させてい
る。

議案第53号 平成 28年度浜田市工業 用水道会計予算

【反対討論】

森谷 公昭 議員

工業用水道は上水道
の件費を約2000
万円負担している。

平成28年3月議会の主な可決事業

新規・瀬戸ヶ島埋立地活用調査事業

瀬戸ヶ島埋立地における水産事業の実行可能性
調査及び実行計画の検討を行う。(養殖等を中
心とした水産事業の可能性調査に着手)

【主な内容】

- 「水産都市浜田」再生に向けた課題解決事業
予算額 8,500千円(地方創生加速化交付金事業)
委託先 株式会社自然産業研究所

新規・BUY浜田推進事業

浜田市内で生産・加工された浜田産品を、市内
での消費を拡大することを目的に「BUY浜田」
運動を推進する。

【主な内容】

- ロゴ作成 108千円
- ロゴシール 194千円
- 啓発ポスター 108千円
- 啓発リーフレット 276千円
- のぼり・ポール 259千円
- 商標登録・手数料 250千円
- 先進地視察 91千円
- 合計 1,286千円

新規・包括的支援事業

地域支援事業を充実するため、地域包括ケアシ
ステムの構築を推進する。

【主な内容】

- 生活支援体制整備事業 3,336千円
- 認知症施策推進事業 3,422千円
- 在宅医療・
介護連携推進事業 3,539千円
- 地域ケア会議推進事業 835千円
- 合計 11,132千円

新規・特色ある学校づくり事業

小中学校(校長)に裁量権を持たせた予算配分
することで、各校の自主性、自立性ある特色あ
る学校づくりを推進する。

【主な内容】

- 小学校(16校) 3,740千円
- 中学校(9校) 2,050千円
- 合計 5,790千円
- 1校当たりの交付額
学校割 : 150,000円/1校
児童生徒数割 : 500円/1人

会派代表質問



会派の代表が施政方針と教育方針を問う



希望を生み出す強い 経済と福祉の充実は？

創風会

原田 義則 議員

質問 水産業の振興策について、魚価を上げていくための整備計画を問う。

市長 平成29年度より、まき網用の荷捌所の新築を行い、移転後の31年より既存を解体、沖底用の荷捌所を改築整備する。

質問 農業の振興策について、TPPの大筋合意により中山間地域農業は、大きな打撃をうけると危惧されるが、今後の対策について問う。

市長 平成28年度から四つの組合せ作物の大豆、キャベツ、あすつこ、アスパラガスの生産に対し、国の交付金に浜田市独自の支援を上乗せして、生産者の支援とほ場面積の拡大に取り組んでいく。

質問 商工業の振興策について、市内産品購入促進のための「BUY浜田運動」の施策について問

う。

市長 地産地消を図るため、市民の皆さんの買物の際には、できるだけ浜田産品を選んでいただく事を条例化し、推進していく。

質問 企業立地策について、三隅火力発電所2号機建設に伴う経済の活性化を図るための内部組織の立ち上げについて問う。

市長 2号機の建設に関わる工事関係者の宿泊や飲食、日常生活用品の購入など、経済効果は大きく期待できる。経済が還流できる方策を見出すため、内部組織の立ち上げについて検討していく。

質問 子育て支援策について、不妊治療、妊婦健康診断や乳幼児医療費、児童医療費の助成の拡充について問う。

市長 不妊治療等への支

援については、平成28年度から一般不妊治療の限度額引き上げのほか、特定不妊治療や不育症治療の助成制度を新たに設け、手厚い支援をしていく。

乳幼児医療費助成については、段階的に対象年齢の拡充を図り、中学生までを拡大している。

質問 都市間相互交流策について、三重県松阪市との縁を大切にしながら市相互交流協定について問う。

市長 平成28年4月に観光・文化交流協定の締結に向け、現在事務レベルで調整を行っている。

質問 市民への福祉策について、市民に高度な医療を提供するためには、優秀な医師確保が最優先課題と思うが、その対策について問う。

市長 不足した部門の医

師確保については、島根大学医学部、山口大学医学部に研究を委託するなど、地域医療体制を守るために連携を図っていく。

質問 結婚活動支援策について、支援団体に対する相談員の増員対策について問う。

市長 しまね縁結び支援センター浜田と連携し、相談員の増員に努める。

質問 文化及び歴史教育環境の整備策について、浜田開府400年に向けた浜田城周辺整備の考え方を問う。

市長 平成31年の浜田開府400年を契機に次世代を担う子ども達をはじめ、市民の皆さんに浜田の歴史・文化を知り、浜田に誇りを持っていただくための地域文化交流の拠点として整備していく。

質問 災害に強いまちづくり策について、浜田自治区の防災行政無線屋外拡声子局の増設について問う。

市長 浜田自治区において、放送が行き届かない空白地域へ計画的に増設を図っていく。

質問 ふるさと寄附について、寄附の使途について問う。

市長 寄附条例により伝統芸能の継承に関する事業、自然環境並びに歴史的及び文化的な資源の保全、活用に関する事業、青少年の健全育成に関する事業などに活用する。

その他の質問

- 浜田港の利活用
- 浜田道の利用促進
- 秋・石見空港利用促進
- 保育士の確保・育成
- 介護施策
- 循環型社会の構築
- 教育の充実
- 健全な市政運営



元気な浜田づくりに欠かせない水産都市浜田

「元氣な浜田づくり」の諸施策を問う！

超党はまだ

牛尾 昭 議員



質問 我々超党はまだは昨年10月に様々な会派から6名が参加し、結成した。個別の会派を超え、小異を捨てて大同に付く（オール浜田）を掲げ、市民目線に立ち、開かれた議会をめざしていく。

最初に、水産振興では水揚高100億円に向かい高度衛生管理型市場建設と冷凍庫は、セットでやるべきと思うが問う。

市長 県やJFしまねと協議し、実現したい。

質問 瀬戸ヶ島などの陸上養殖について問う。

市長 瀬戸ヶ島は、近畿大学に調査を依頼し、休耕田を利用した養殖は、岡山理大と進めたい。

質問 地元商店街の振興策について問う。

市長 商店街の皆さんの意見を聞き、BUY浜田運動などを推進していく。
質問 観光交流推進での

インバウンド政策で、海外交友都市を多く持つ、優位性を活かした取組をすべきと思うが問う。

市長 平成20年以降は交流が途絶えているので再開の可能性を探りたい。

質問 子どもを安心して産み育てる環境づくりで、夜間保育の必要性について問う。

市長 ファミリー・サポート・センター事業や、トワイライトステイ事業の利用を検討している。

質問 障がい者差別解消条例の制定を問う。

市長 障がい者の皆さんの思いなどを反映した条例を検討し制定したい。

質問 上水道と簡易水道の統合が3年延期されたが料金改定の考えを問う。



浜田城復元CG
復元：三浦正幸 制作：株式会社工ス

質問 防災に強いまちづくりで、無線増設を問う。

市長 今年度は、内村鍋石など9基増設予定である。

質問 美川小や石見小、松原小の老朽化について、建替えか統合かについて問う。

教育長 28年度に決定。

質問 原井幼稚園と石見幼稚園の統合建築場所について問う。

教育長 29年度に決定。

質問 浜田城周辺整備事業の目的について問う。

教育長 ふるさとへの誇りと郷土愛を育みたい。

質問 今年度末には方針を示すとしていた、学校給食施設の統合方針はどのようになったのか問う。

市長 市の地産地消の動向や学校統合計画審議会

の状況なども視野に入れ、もう少し時間をかけて判断する必要があると考える。当面、2年から3年程度は現行体制を維持し、今後、ふさわしい形を判断していきたい。

質問 市外から介護人材を迎え入れる「シングルペアレント」の取組に合わせ、今いる「市民のシングルペアレント」への支援をお願ひしているが、その支援策を問う。

市長 福祉医療なども優先した取組も行ってきた経緯もあるが、収入が少ないひとり親支援について、市として何かできないか考える必要がある。

質問 胃がん対策とし

学校給食施設の統合問題の方針は？

公明クラブ

佐々木 豊 治 議員



て、ピロリ菌検査の助成などの取組をこれまでも訴えてきたが、全県をあげて取り組む自治体もでてくるなど、全国的にも助成の導入が進んでいる。当市の対応を問う。

市長 死亡率を減少させる明確な根拠がでていないとされており、今後の推移を注目していきたい。

質問 昨年、労働安全衛生法が改正され「職場の受動喫煙防止対策」が全面施行となり、すべての事業者を対象に、たばこの煙から働く人を守る体に優しい職場づくりに取り組むこととされているが、当市の取組を問う。

市長 公共施設等での禁煙を実施するとともに、事業者のご協力により「たばこの煙のない施設登録事業」などに取組んでいる。

質問 小学生で4km以上

上、中学生では6km以上の通学距離がある児童生徒に対し、定期券代が全額援助される通学援助制度があるが、小学生は対象とならない状況になっている。中山間地から自転車で通学する生徒は、登り坂や暗い夜道を帰ることとなり、安全面も不安である。当制度は支援が100か0なので、6kmに満たない生徒に対する支援はできないか問う。

教育長 距離に応じて段階的に援助している自治体もあるので他市の状況をみながら今後検討したい。

※1 日本版CCRCとは、「東京圏をはじめとする高齢者が、自らの希望に応じて地方に移り住み、地域社会において健康でアクティブな生活を送るとともに、医療・介護が必要な時には継続的なケアを受けることができるような地域づくり」を目指すものである。

個人一般質問 19名が論戦

どうする高校 大学など

支援部署設置



答 28年度窓口一元化
担当係を設置する

芦谷 英夫 議員

質問 高校、県立大学、専修学校などへの支援のための専門部署設置の検討の状況とその内容を問う。

総務部長 窓口を一元化するため担当係を設置し、県立大学、リハビリテーションカレッジ、ビューティカレッジ、県立高校についての業務を担う。

質問 市指定管理、業務委託などで働く人の賃金や労働条件の維持に向け対応や考え方を問う。

総務部長 指定管理者選定委員会に社会保険労務士を加え、低入札価格調査制度、最低制限価格制度などを導入している。

質問 全国的には貧困が、学力向上に支障があるとの報告があるがどうか。

教育部長 経済的に厳しい環境の家庭への就学援助、学習支援、土曜学習

事業、放課後学習支援などを進めたい。

質問 市民からの寄贈史料、古文書などで整理されていらないものがある。歴史や文化財関係の職員が少ないのではないか。

教育長 寄贈の史料や古文書などは、市史編纂業務で整理、保存に努めているが、人員の関係から整理が追いついていない。歴史文化財の担当職員数は益田市などと比べ少なく、増員について人事担当部と協議したい。

地域格差を感じる

道路修繕への取組は？



答 市街地の要望に対し
計画的に維持修繕を図る

岡本 正友 議員

質問 旧市街地の道路側溝の溝蓋の不備や異種道路舗装の混在からの段差など、整備状況に対し住民不満を聞く。維持費に地域格差を感じるがその整備状況の実態を問う。

都市建設部長 27年度市道1km当たり浜田自治区は13万8千円、那賀自治区は21万6千円、21万7千円である。

質問 浜田自治区の1に対し、那賀自治区は約1.5倍の修繕費の割合からも、その整備状況の差を感じる。現状の認識と今後の市街地の道路整備への対応について問う。

都市建設部長 市街地の道路不備状況は認識している。舗装や側溝の修繕について住民要望が多く、対応が難しい状況である。計画的維持修繕に努めたい。

養殖を全力で推進する

部署が必要だが？



答 養殖の連携強化に
なるものをつくりたい

笹田 卓 議員

質問 市長が掲げる8年後の浜田漁港水揚げ100億円を達成するには、海面、陸上養殖で20億円から30億円を目指す必要がある。養殖を全力で推進する「養殖推進室」のような部署が必要と考えるが？

副市長 職員を増やすことはできないが、養殖の連携強化になるものをつくりたい。

質問 先日、大寒波で断水という事態が発生し、市民から知らなかったとの意見も伺った。緊急時も含めて、フェイスブック、ツイッター、ラインなどの「SNS」(※2)を利用すべきだが？

総務部長 前向きに浜田市一体のものができるか協議したい。



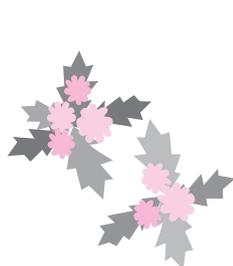
講演会「活かして伝えたい浜田の歴史遺産」



道路側溝改修工事



画期的な海藻陸上養殖！



情報伝達にSNSの利用は有効

※2 SNS (ソーシャルネットワーキングサービス) 友人・知人とのコミュニケーションを円滑にする。

とは、人と人とのつながりを促進・支援する、コミュニティ型のWebサイトおよびネットサービス。

高齢者クラブ

「友愛活動」の支援は？



申崎 利行 議員

答 活動に対して出来る限りの支援をする

質問 高齢者クラブの存続は、会長・リーダーを引受ける方の人選が大変大事である。最近人選が難しく、なかには会・クラブの存続も厳しい状況と聞くが、市の考えを問う。

健康福祉部長 全国老人クラブ連合会では、自己点検をし、改善に努めている。従来方式にとられない活動や運営方法を検討することが必要であると考えている。

質問 高齢者クラブは、10年間で2016人の会員、27クラブの大幅な減少で、若手会員の加入促進の展開もしたが、進まない状況である。高齢者クラブの活動は、介護予防、認知症の予防活動そのもので、会員数を増やすべきであるが、市の考えを問う。

健康福祉部長 高齢者クラブ活動の重要性は認識しており、活動への理解が深まるようPRなどの支援をする。

質問 集落営農組織の強化について考えを問う。

産業経済部長 集落営農組織、農作業サポート経営体、認定農業者などとの幅広い連携や新規就農者の誘導を推進する。

その他の質問

○弥栄自治区集落営農組織連携協議会の支援

○浜田市女性管理職30%を目指す

健康福祉部長 高齢者ク



高齢者クラブ連合会弥栄支部の「シニアスポーツ大会」

災害時の対応に

課題があるのでは？



足立 豪 議員

答 災害対策本部を確立して対応している

質問 先の猛烈な寒波では全国的にも多くの被害が発生したが、浜田市においても様々な被害が発生した。職員で対応できる規模を超えたものであり、浜田市の対応を問う。

総務部長 市長へ適宜情報を伝達し、全部署及び職員で情報共有した。

質問 市民から不満の声があったが、課題を問う。

総務部長 現場の状況が対策本部に届いていないものがあつた、決定事項が各部署に十分伝わらなかつた、情報の共有が一部できなかったことがあげられる。

質問 浜田市が未曾有の災害により非常時であったにもかかわらず、市長は出張先からすぐに戻らなかつたが、影響したことはないのか問う。

総務部長 影響はない。

質問 浜田に住むひとり親家庭にも「シングルペアレント支援事業」と差別なく同様に支援できるように研究することのことだが、その後の進捗状況について問う。

健康福祉部長 保育料の軽減など支援を充実させていく。

質問 受入れ時だけでなく、その後の支援も必要であり、考えを問う。

地域政策部長 2年目以降も支援できるよう研究する。

総務部長 影響はない。



時間を変更して断水した石原配水地

浜田の活性化にどう取り組むか？



牛尾 博美 議員

答 人口交流の増加と浜田製品の消費拡大を図る

質問 浜田のおいしい魚や新鮮な野菜そして自然豊かな海や山々を楽しんでいたが、交流人口を増やし、浜田で生産された農水産物の出荷、コンテナなどの物流においても浜田自動車道の利活用は浜田市の最重要課題だ。浜田道で来られる方に浜田市独自の高速料金割引制度の取組について問う。

産業経済部長 利用促進のために、ネクスコ西日本などと各種施設の割引の事業やキャンペーン活動をしてきた。今後の施策や計画については観光や産業関係の部署と連携して具体的な検討をする。

質問 今3月議会に「地域資源活用推進条例」が提案された。その軸になる「BUY浜田」運動の取組について問う。

産業経済部長 この条例は、浜田市の地場産業の育成と消費拡大が目的で市内で生産、加工された浜田製品の消費拡大を図っていききたい。市民の皆さんに買っていただくという運動で、皆さんのご理解とご協力をお願いしたい。

その他の質問

○浜田市*松阪市との観光文化交流協定の締結について

○浜田警察署跡地について

産業経済部長 この条例



交流人口の増加と物流の大動脈・浜田自動車道

介護報酬引き下げの

事業所影響調査を



西村 健 議員
答 状況把握に努め
対応する

質問 来年4月から要支援者の通所・訪問介護サービスが市町村の「介護予防・日常生活支援総合事業」に移行することに伴い、現在、準備が進められていると思うが、課題認識について問う。

健康福祉部長 利用者ニーズを把握したうえで事業者へ新たなサービス内容・報酬を示し、事業参画を促していくことになるが、現行より低い報酬設定で十分な事業者参入が得られるか、また、地域やボランティア組織がいかに高齢者支援に目を向け、取組んでいただいているかが課題である。

質問 介護報酬の引き下げにより経営に苦慮している事業者があると聞きますが、現状認識及び対応方針について問う。

健康福祉部長 ほとんど

大寒波による水道管破裂

漏水の料金減免は？



野藤 薫 議員
答 大規模で発生、漏水
水量の8割を減免する

質問 減免後の想定料金を問う。

上下水道部長 従来の減免は5割、この度は漏水が広範囲で大規模な断水が発生し、影響も大きく8割を減免した。負担の増額も通常使用の3倍までである。

質問 出産、育児休業後の保育所入所について問う。

健康福祉部長 一時保育事業の利用料は、市内の保育所で基本的には統一している。

「ならし保育」については浜田市では、国の通知により就業日前1〜2週間程度としている。基本的には保育の必要性があるに該当せず、弾力的運用は難しい。

質問 浜田城公園整備計画について問う。

地域政策部長 地域協議

自衛隊を要請しながら、

なぜ出張したか？



森谷 公昭 議員
答 将来の「浜田市の
水産業」のためだ

質問 大寒波到来の情報がありながら、断水に至った。人災だと思いが、市長の責任を問う。

市長 長期間にわたって断水し、市民にご迷惑をお掛けしたことは、お詫びしたい。

質問 緊急事態で自衛隊の給水車を呼びながら挨拶もせず部課長5人と広島、大阪、和歌山へ出張に行った。本来、出張先から飛んで戻る案件だ、その理由を問う。

市長 将来の浜田市の水産業のために出張した。雪害対応は副市長に任せ、私は電話で対応した。

質問 出張内容を公開請求したら、全部マジックで黒消しして出てきた。なぜ開示しないのか？

総務部長 浜田市の将来の施策方針を決定する段階にならないからだ。

質問 仮に同じような雪害が起こったとしても出張を優先するのかな？

市長 答えが難しい。

質問 注意喚起の伝達方法は問題なかったか？

上下水道部長 大きな被害が出た以上問題があったと反省している。反問をする。森谷議員は寒波前にどのような周知をし、効果はどうだったか問う。

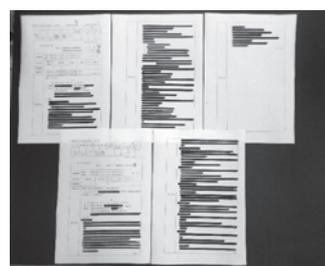
議員 反問になってないが、私は、自分の水道の水をちよるちよる出したが他人には言わなかった。何か問題があるか？



特別養護老人ホーム借生園



整備が待たれる城山道路



黒消しされた出張報告書

小中の英会話力強化への

取組を問う

岡野 克俊 議員

沿って推進していく



答 学習指導要領改訂に

質問 文科省の指針であるアクティブ・ラーニング(主体的・協働的学び)(※3)への考えと取組を問う。

財務部長 近年激増して、昨年度が7億2千万円余りで、今年度は既に2月で20億円を超え、全国の自治体で7位である。

質問 魚類・ポーク類と並ぶ主要返礼品のお米の安定確保の必要性を問う。

財務部長 お米は人気産品で、昨年度は約60トン、今年度は240トンと4倍増である。市としては関係各所と情報を共有して数量確保に努めたい。

教育部長 児童生徒が一方的な講義によらない、グループでの発見や調査学習や討論などによって思考力・判断力・表現力を培う学習方法は意義があると考える。図書館などを活用し、課題解決型学習を推進していきたい。

質問 小中学校長の裁量権拡大の基本方針を問う。

教育部長 教育指導要領の「創意工夫を生かした特色のある教育活動の展開」を最大限尊重したい。課程編成の責任者の学校長に一定額の予算執行権を与え、事業実施したい。

質問 市の財政及び経済活性化に資する浜田市ふるさと寄附の状況を問う。



ふるさと寄附の庁内ポスター

浜田市の平均農業収入の

認識を問う

上野 茂 議員

認識している



答 全国的にも低いと

質問 農家所得500万とあるが、当市の農業収入を一体、どれくらいと認識しているか問う。

産業経済部長 兼業農家と小規模な農家が大半を占めているので、全国的にも低い位置にあると認識している。今後農業生産の向上と収益を高めるため、農地集積、農業基盤整備や高付加価値化の取組みを推進し、農業所得を高めるよう努める。

質問 三隅火力発電所2号機建設と自然環境をまもり活かすまちづくりの位置づけ建設に対し、どのような考え方で臨まれようとしているのか問う。

市民生活部長 中国電力から、発電所2号機の建設・稼働による環境影響を評価するための方法書が提出される予定。今後は1号機建設時に締結し

た環境保全に関する協定書の内容の見直しを図り、環境リスクへの対応にしっかりと取り組んでいく。

次期まちづくり交付金の

算出基準は!

田畑 敬二 議員

75%になる



答 27年度実績の

質問 27年度のまちづくり総合交付金額の75%が28年度の交付金になるか問う。

地域政策部長 次期制度では基礎部分として現行制度と同じく世帯割、面積割、均等割を設けて、公民館や小学校校区、世帯数、規模に応じた活動費を計上し、これらが75%に当たる。

質問 職員適正化計画を延長し、1/3から4/5採用とした理由を問う。

総務部長 国・県から様々な権限委譲、高齢者包括支援センター・支所体制の充実等職員不足に対応していくため4/5採用とした。

質問 中期財政計画によると、平成30年度以降から実質単年度収支が赤字になるがその対策を問う。

財務部長 健全な財務運営を実施するうえにおいて、行財政改革を強力に推進することが何よりも重要である。公共施設の再配置計画の実施、人件費の抑制に取組む。

質問 1月の寒波による災害時(断水時・災害時)における市民への情報伝達手段を問う。

総務部長 情報伝達手段は、屋外拡声子局機、防災行政無線戸別受信機、CATV、防災ラジオ、防犯防災メール、広報車、市のホームページ等である。



まちづくりの拠点白砂公民館

※3 アクティブ・ラーニングとは、教員による一方的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。学修者が能動的に学修することによって、認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る。

地域資源をまちづくりに

活かすには？



答 環境整備して地域や関係団体と連携し取組む

布施 賢司 議員

質問 長浜台地一帯に分布している黄長石霞石玄武岩は、日本海の形成を解き明かす貴重な地域資源である。その価値と市民への情報発信を問う。

教育長 現在まだ研究途中であり、解明されれば国立博物館に展示される。また、地元研究会と連携して、講演会や現地散策会を行い情報発信に努めている。浜田郷土資料館には県大生が作成したジオラマが展示してある。

質問 日本一の石見豊ヶ浦は、トイレ未設置や観光サイン不足、博物館を兼ねたガイドの会の拠点施設等が整備されていないなど、多くの指摘があるが、取組について問う。

産業経済部長 入口手前のトイレ利用を呼びかけ、表示を建物の壁面にする。また、観光サインは設置

子どもの命を守り

学力向上を目指す取組を！



答 安全の確保と学力向上の支援・充実をはかる

小川 稔宏 議員

質問 虐待から子どもを守るための実態把握と関係機関との情報共有、連携について問う。

教育部長 家庭訪問等により情報収集し、場合によっては児童相談所と連携して安全確保の措置をとる。臨検・搜索の模擬訓練も実施されている。

質問 孤食や食事をキチンと摂れない子ども達のための「子ども食堂」事業について問う。

教育部長 先進地事例も参考に行政、地域、関係機関の連携や試行的な実施も含め研究したい。

質問 土曜学習に地理的・経済的に参加できない子どもの対策について問う。

教育長 中学校区の公民館等での開催を検討する。

質問 食事提供、悩み相談、学習支援を兼ね備えた包括的な居場所の開設

ふるさと寄附を検証し

次なる取組につなげよ



答 さらに取組を努力していきたい

江角 敏和 議員

質問 2008年、地方税法の改正で「ふるさと寄附」が始まった。この制度は、「自治体同士の税の奪い合い」と、「豪華な特産品を入手するための制度になっていく」との指摘もあるが、20億円を超えた浜田市としての、成果と課題を問う。

財務部長 成果は自主財源の確保、地域経済への貢献がある。課題は、増えれば増えるほど、事務対応や制度運用の工夫等々も様々生じてくる。

質問 20億円の寄附だとすると、10億円弱が浜田市の「ふるさと応援基金」に残るとのことか。寄附の流れや、寄附がどの事業にいくらか充てられているのか、分かりにくい。特別会計化も含め、分かりやすくすべきだが、その考えを問う。

財務部長 約45%でみている。会計を分かりやすくすることは重要なので研究・調査し、努力していきたい。

質問 寄附者の人数と、メール等でつながっていくことも必要だと思いが、考えを問う。

財務部長 今年度で約8万5千人である。メール配信は大切なので有効活用していきたい。

質問 ふるさと住民票制度導入、人口のサブカウント化の考えはないか。

産業経済部長 検討する。



長浜台地一帯に分布している黄長石霞石玄武岩のジオラマ



土曜学習が開かれている市立図書館



20億円達成ポスター

安全・安心の構築へ

防災無線機の戸別設置を



答 当面は屋外拡声子局の増設で対応したい

道下 文男 議員

質問 1月の寒波での断水において、浜田自治区の防災行政無線放送が全く聞き取れないとの市民からの苦情が相次いでおり、早急に浜田自治区での戸別受信機の設置を図りたいが、考えを問う。

総務部長 戸別受信機の有効性については十分に認識しており、引き続き検討していく。当面は、防災防犯メールの登録推進や、屋外拡声子局の増設による安全安心の構築に努める。また、インターネットを介しての周知方法も検討していく。

質問 市民への周知に、消防団の拡声器搭載のポンプ積載車を活用することへの考えを問う。

消防長 防災無線及び広報車による広報の補完として消防団車両を活用することについては、今後

災害警戒活動との整合性を図りながら関係部局と協議する。

質問 情報化社会の進展が著しい今日、児童生徒へのメディア対策強化について考えを問う。

教育部長 メディア依存にならぬよう、児童生徒自身が自立する意識や力を高めていくことが不可欠であり、児童生徒や保護者とともにメディアとのかかわりを考える機会を工夫していく。



屋外拡声子局と拡声器搭載の消防団車両

今年もやります!!

議会報告会

日時	開催会場
5月11日(水) 19:00 ~ 20:30	今福公民館
	三隅公民館
5月12日(木) 19:00 ~ 20:30	周布公民館
	石見公民館
5月13日(金) 19:00 ~ 20:30	弥栄会館
	旭支所
5月14日(土) 10:00 ~ 11:30	美川公民館
	国府公民館
5月14日(土) 14:00 ~ 15:30	長浜公民館
	浜田公民館



昨年の地域井戸端会議の様子

浜田市議会では、今年も議会報告会を開催します。各地域の公民館などを会場として、開催する予定です。今回は、3月定例会の議案状況を報告し、その後グループに分かれて意見交換を行う予定にしています。みなさまからの意見をいただきながら、今後の議会活動の取組に活かしていきたいと思ひます。市民のみなさまのご来場を、心よりお待ちしております。

岡見小学校6年生が本会議場を見学しました



岡見小学校6年生が本会議場を見学に来ました。
市議会のしくみについて学習し、その後、質疑応答をしました。

市議会は何をするところですか



今日は僕が議長です



みんなが住みやすい
暮らしができるよう
にしています



議場の雰囲気がテレビのイメージとは違い、ピリッと引き締まっていて、とても緊張しました。（児童感想一部抜粋）

【編集委員】
 芦谷 英夫 委員長
 串崎 利行 副委員長
 足立 豪 委員
 岡野 克俊 委員
 柳楽真智子 委員
 小川 稔宏 委員
 野藤 薫 委員
 飛野 弘二 委員
 平石 誠 委員
 牛尾 昭 委員

今や多くの国民がその制度を利用して「ふるさと寄附」。全国トップになる自治体では、返礼品アイテム数が数百にもなります。多くの自治体がふるさと寄附制度に力を入れているため、寄附額の順位争いも年を追うごとに大激戦となっています。

わが浜田市も、ここ数年大きく恩恵を受けています。今後は、いただいた寄附をどのように有効活用していくのか？各自治体の経営センスが求められてきます。自治体の考え一つで、限られた自主財源確保に大きな差が出てくる時代です。

将来においても、浜田市に寄附してもらえようなまちづくりを進めることが、議会にも求められています。（記 足立 豪）

あどがき

★この議会だよりは1部あたり42・40円でできています。

【議長なんでもメール】 議長や市議会に対するご意見・ご要望・ご提言などお気軽にお寄せください。
浜田市議会HP→議長なんでもメール